

(別紙様式)

令和7年度学校評価の実施状況等調査

学校名	沖縄県立宮古高等学校
記載者名	教頭・遠藤美紀夫

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	38	2	0	43

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	3	0	0				3

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	109	297	0				406

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームぺージ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()
学校関係者評価	①ホームぺージ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()

5 令和6年度の学校評価を踏まえ、令和7年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

① 自学自習の“行動化”:学習用具の持ち帰りが定着
② 疑問解消の主体性向上:調べる・質問する行動が前進
③ 進路意識の明確化と努力の促進
④ 相談先の認知向上:支援ネットワークが浸透
⑤ 家庭連絡の確実化:「学校からの便り・連絡等は家に届けている」で肯定が増

6 令和7年度の学校評価で明らかになった課題

① 家庭学習(予習・復習)の定着が弱い
② 授業のわかりやすさ・評価への納得感の一部低下
③ 出欠・規範面の後退(遅刻・欠課)
④ 進路情報・個別指導への評価が伸び悩み
⑤ 教育相談体制の“保護者向け”周知・活用が不足

7 令和7年度の学校評価を活かした令和8年度の改善点

① 家庭学習の見える化、等の手立ての構築
② 「評価の在り方」について、教員間の研究・共有をもった生徒への説明
③ 安易な欠席等の洗い出しと個別支援の組織化
④ 進路指導の組織化:係任せにしない、全職員による進路指導の方向性の共有
⑤ 保護者への連絡体制の新たな試行

令和7年度 県立宮古高等学校学校評価アンケート(自己評価)

【学校の教育目標】

憲法並びに教育基本法の定めに従い、民主社会の形成者にふさわしい知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。

【本年度の努力目標】

(1)魅力ある学校・信頼される学校づくり (2)学力向上 (3)体力向上 (4)積極的な生徒指導の実践 (5)進路指導の充実 (6)キャリア教育の充実 (7)教育相談の積極的推進 (8)図書、ICT関連機器、視聴覚教材の充実と積極的活用 (9)職員研修の積極的推進 (10)保健・安全教育の推進 (11)美しい学園づくり (12)施設・設備の充実と効果的運用 (13)国際化時代に対応する教育の推進 (14)地域の文化理解と連携の深化 (15)PTAや同窓会及び関係機関との連携の深化 (16)生徒・職員が生き生きとやりがいをもって教育活動に取り組む環境づくりの推進

【評価】自己評価の欄(ABCD)に○を記入し、評価を踏まえて評価のまとめを書いてください。

A:達成できた(80%以上) B:ほぼ達成した(80%~50%程度) C:あまり達成できなかった(50%~30%程度) D:達成できていない(30%以下)

評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価				評価のまとめ(成果・課題)
			A	B	C	D	
(1)教育目標	○自己教育力の育成	① 自ら学ぶ態度と自己実現の能力を育てる。	30	63	7	0	【成果】○緑豊かな環境 A 18→35(+17)、国際協調 A 26→35(+9)。環境整備や外とつながる視点が強化。 【課題】○自ら学ぶ態度 A 25→30(+5)と改善も、まだ A 30%で C が0→7%に増。主体性定着は発展途上。
	○知・徳・体のバランスのとれた教育	② 毎日の授業を大切に、家庭学習・部活動を奨励する。	44	49	7	0	
	○緑豊かな教育環境の整備	③ 緑豊かな環境を整備し、心豊かな生徒を育成する。	35	53	12	0	
	○アイデンティティと国際性	④ 姉妹校交流等を通し、郷土の歴史・文化を誇りにした国際協調の精神を育てる。	35	53	9	2	
(2)教育計画	○教育目標に沿った計画・立案を行う。	① 教育課程の整備、年間行事計画の策定・実施。	47	49	5	0	【成果】A 33→47(+14)。計画・立案の運用が一段と着実に。
(3)教科・科目指導	○学ぶ楽しさを実感させ、学力の向上を図る。	① 説明、板書、発問等、各教諭の授業の充実(進学重点拠点校事業)	49	42	9	0	【成果】○授業の充実 A 44→49(+5)/基礎・基本 40→42(+2) 諸講座 38→40(+2)/個別指導 28→42(+14)。授業・個別最適化の双方で前進。 【課題】○家庭学習の習慣化 A 21→23(+2)だがC28→30%で停滞。教師の働きかけが成果へ十分つながっていないという前年度所見が、依然傾向として残存。
		② 基礎・基本の確実な定着	42	49	9	0	
		③ 諸講座を実施し、学習の応用・発展を図る。	40	53	7	0	
		④ 個に応じた指導	42	56	2	0	
		⑤ 家庭学習の習慣化	23	47	30	0	
		⑥ 各種検定の奨励	30	58	7	5	
(4)総合的な探究の時間	○問題発見解決能力を育て、郷土に対する理解を深める。	① 全職員による取り組み	35	56	9	0	【成果】○地域連携 A 26→28(+2)と小幅増。 【課題】○全職員による取組 49→35(-14)、宮高力の向上 31→26(-5)かつ C 5→19%(+14)。協働推進と学校独自力の向上に取組中。
		② 宮高力の向上	26	53	19	2	
		③ 郷土学習の推進	28	60	9	2	
		④ 地域との連携	28	53	19	0	
(5)特別活動	○自主性・自立性を確立し、豊かな心を育成する。	① 学級経営の充実	43	52	5	0	【成果】○学級経営 37→43(+6)、生徒会活性化 37→47(+10)。 【課題】○部活動活性化 33→35(+2)もC14→16%。前年度所見にも部活動加入率の低下懸念の指摘があり、構造的課題が続く可能性。
		② 生徒会活動の活性化	47	47	7	0	
		③ 部活動の活性化	35	49	16	0	
(6)生徒指導	○基本的な生活習慣の確立 ○交通安全教育の推進 ○問題行動の未然防止 ○人権教育の推進	① 勸怠指導・マナー指導・身なり指導を徹底し、挨拶を奨励する。	16	67	16	0	【成果】○交通安全 26→40(+14)、人権教育 42→44(+2)、問題行動の未然防止 38→41(+3) (Dは**2→0%**に改善)。 【課題】○基本的な生活習慣 A 16→16(±0)、C11→16%。規範意識の底上げは引き続きの焦点。
		② 生命の大切さ・道路交通法の遵守の指導を徹底する。	40	53	7	0	
		③ 学年ごとに生徒指導集会を毎月もって指導する。	41	44	15	0	
		④ いじめ防止の指導を徹底し、カウンセリングを持って生徒指導にあたる。	44	53	2	0	
(7)進路指導	○進路の早期決定 ○進路決定率を高める ○国公立大学への合格者数を増加させる ○進路意識の高揚	① 進路調査を活用し、三者面談、個別面談を実施する。	51	44	5	0	【成果】○進路決定率を高める 40→51(+11)は大幅改善。 【課題】○進路の早期決定 56→51(-5) (水準は高いが微減)、国公立合格増 27→24(-3)、進路意識の高揚は A 29→36(+7) ながら C10→24%と二極化の兆し。前年度所見の「進路決定後の動意」も引き続き留意点。
		② 講座、進路相談を充実させ、対外模試を実施する。	51	42	7	0	
		③ 進路検討会を持ち、個に応じた指導を充実させる。	24	55	19	2	
		④ 進路講演会や各種講座・進路の保護者説明会を実施する。	36	40	24	0	
(8)教育相談	○教育相談を積極的に推進する	① 個に応じた支援体制の充実を図る。	56	37	7	0	【成果】○個に応じた支援体制 42→56(+14)、SC等連携 47→49(+2)。校内支援ネットワークの機能が強化。
		② スクールカウンセラー等外部機関との連携を図る。	49	47	5	0	
(9)健康・安全指導	○健康・安全で幸福な生活のあり方を考える	① 保健講話(健康教育)を実施する。	60	38	2	0	【成果】○保健講話 50→60(+10)、保健便り・感染予防 49→55(+6)、安全管理 31→47(+16)。予防啓発と安全管理が充実。 【課題】○前年度所見に「保健室頼みにならない体制見直し」の必要性が示唆。運用面の分散・役割明確化を継続検討。
		② 保健便りを随時、発行する。新型コロナウイルス感染症予防に努める。	55	38	5	2	
		③ 生徒の安全確保及び施設の安全管理に努める。	47	44	9	0	
(10)環境美化	○緑あふれる、美しい学園づくりに努める	① 教室を中心に学校内の美化に努める。	47	49	5	0	【成果】○教室美化 31→47(+16)、全体清掃 33→40(+7)、学校周辺清掃 17→30(+13)。校内外の美化が前進。 【課題】○前年度所見に「学校周辺清掃を教育活動として取り入れる必要検討」があり、継続的な仕組み化が鍵。
		② 全体清掃を徹底する。	40	53	7	0	
		③ 学校周辺の清掃活動	30	47	21	2	
(11)研究・研修	○職員一人一人の教育的実践力及び学校の総合的な教育力を高める	① 外部講師を招聘した職員研修を推進する。	40	55	5	0	【成果・課題(総合)】○外部講師研修 A 44→40(-4)、校内研修 45→39(-6)、授業研究 53→42(-11)とR7は後退。前年度は「A が大きく増加」「協働体制で活性化」と好評だった分、持続可能な設計や人員・時間配分の再構築が必要。
		② 校内研修の充実を図る。	39	56	2	2	
		③ 授業研究の継続実施など授業改善に努める。	42	49	9	0	
(12)家庭・地域との連携	○開かれた学校づくり	① PTA活動の活性化を図る。	23	63	12	2	【成果】○PTA活性化 20→23(+3)、HP等の情報公開 36→40(+4)。 【課題】○授業参観・三者面談の活性化 59→42(-17)と大きく低下。授業参観日を年間1日とする意図と、三者面談の意義を全体で共有することが必要。
		② 授業参観・三者面談の活性化を図る。	42	53	5	0	
		③ 学校のHP等をおして生徒の活躍や学校の情報を公開し、地域に学校の理解を求めるとにより連携を図る。	40	43	17	0	
(13)職場環境の形成	○働き方改革に於ける職場環境確認	① 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています	49	44	7	0	【成果】○人間関係 32→49(+17)、個人裁量時間 9→30(+21)、生徒との信頼 29→46(+17)、心身の健康・職場環境 19→40(+21)。働き方改革の進展が見える。 【課題】○個人裁量時間のCが23→33%(+10)で「余裕のなさ」を感じる層が依然厚い。前年度所見の「取組のスクラップの真剣検討」も踏まえ、やらないことの明確化が引き続き重要。
		② 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています	30	33	33	5	
		③ 一人ひとりの生徒との信頼関係を深めることができています	46	46	7	0	
		④ より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実しています	28	51	21	0	
		⑤ 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています	40	49	7	5	

令和7年度 県立宮古高等学校学校評価アンケート(学校関係者)

【学校の教育目標】

憲法並びに教育基本法の定めに従い、民主社会の形成者にふさわしい知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。

【本年度の努力目標】

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| (1) 魅力ある学校・信頼される学校づくりの推進 | (2) 教職員の協力・協働体制の確立 |
| (3) 基本的な生活習慣・家庭学習・自学自習の確立 | (4) 授業改善による学力向上授業 |
| (5) 進路指導の充実 | (6) 規範意識の育成と生徒支援の充実 |
| (7) 学習環境の整備 | (8) 国際化時代に対応する教育の推進 |
| (9) 外部機関等との連携の強化 | (10) 生徒・職員が生き生きと教育活動に取り組む環境の整備 |

【評価】 評価の欄(ABCD)に○を記入し、課題・意見・要望等がございましたらお書きください。

A:達成できた(80%以上) B:ほぼ達成した(80%~50%程度) C:あまり達成できなかった(50%~30%程度) D:達成できていない(30%以下)

評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価				評価のまとめ(成果・課題)
			A	B	C	D	
(1)教育目標	○自己教育力の育成 ○知・徳・体のバランスのとれた教育 ○緑豊かな教育環境の整備 ○アイデンティティと国際性	① 自ら学ぶ態度と自己実現の能力を育てる。	3				
		② 毎日の授業を大切に、家庭学習、部活動を奨励する。	3				
		③ 緑豊かな環境を整備し、心豊かな生徒を育成する。	3				
		④ 姉妹校交流等を通じ、郷土の歴史・文化を誇りにした国際協調の精神を育てる。	3				
(2)教育計画	○教育目標に沿った計画・立案を行う。	① 教育課程の整備、年間行事計画の策定・実施。	2	1			
(3)教科・科目指導	○学ぶ楽しさを実感させ、学力の向上を図る。	① 説明、板書、発問等、各教諭の授業の充実(進学重点拠点校事業)	3				
		② 基礎・基本の確実な定着	3				
		③ 諸講座を実施し、学習の応用・発展を図る。	3				
		④ 個に応じた指導	3				
		⑤ 家庭学習の習慣化	3				
		⑥ 各種検定の奨励	3				
(4)総合的な探究の時間	○問題発見解決能力を育て、郷土に対する理解を深める。	① 全職員による取り組み	3				
		② 宮高力の向上	3				
		③ 郷土学習の推進	2	1			
		④ 地域との連携	2	1			
(5)特別活動	○自主性・自立性を確立し、豊かな心を育成する。	① 学級経営の充実	2	1			部活動をやる生徒が減っているなか、生徒たちはよくがんばっていると思います。
		② 生徒会活動の活性化	3				
		③ 部活動の活性化	2		1		
(6)生徒指導	○基本的な生活習慣の確立 ○交通安全教育の推進 ○問題行動の未然防止 ○人権教育の推進	① 勤怠指導・マナー指導・身なり指導を徹底し、挨拶を奨励する。	2	1			
		② 生命の大切さ・道路交通法の遵守の指導を徹底する。	2	1			
		③ 学年ごとに生徒指導集会を毎月もって指導する。	2	1			
		④ いじめ防止の指導を徹底し、カウンセリング・マインドを持って生徒指導にあたる。	2	1			
(7)進路指導	○進路の早期決定 ○進路決定率を高める ○国公立大学への合格者数を増加させる ○進路意識の高揚	① 進路調査を活用し、三者面談、個別面談を実施する。	2	1			進路講演会や講話など、熱心に取り組まれていると思います。
		② 講座、進路相談を充実させ、対外模試を実施する。	2	1			
		③ 進路検討会を持ち、個に応じた指導を充実させる。	2	1			
		④ 進路講演会や各種講座・進路の保護者説明会を実施する。	2	1			
(8)教育相談	○教育相談を積極的に推進する	① 個に応じた支援体制の充実を図る。	3				
		② スクールカウンセラー等外部機関との連携を図る。	3				
(9)健康・安全指導	○健康・安全で幸福な生活のあり方を考える	① 保健講話(健康教育)を実施する。	2	1			
		② 保健便りを随時、発行する。新型コロナウイルス感染症予防に努める。	2	1			
		③ 生徒の安全確保及び施設の安全管理に努める。	2	1			
(10)環境美化	○緑あふれる、美しい学園づくりに努める	① 教室を中心に学校内の美化に努める。	2	1			
		② 全体清掃を徹底する。	2		1		
		③ 学校周辺の清掃活動	2		1		
(11)研究・研修	○職員一人一人の教育的実践力及び学校の総合的な教育力を高める	① 外部講師を招聘した職員研修を推進する。	2	1			
		② 校内研修の充実を図る。	2	1			
		③ 授業研究の継続実施など授業改善に努める。	2	1			
(12)家庭・地域との連携	○開かれた学校づくり	① PTA活動の活性化を図る。	2	1			
		② 授業参観・三者面談の活性化を図る。	2	1			
		③ 学校のHP等をおして生徒の活躍や学校の情報を公開し、地域に学校の理解を求めることにより連携を図る。	2	1			

令和7年度 保護者アンケート

※ 下記の項目についてどのように考えますか。あてはまる欄(A B C D)に○印をつけて下さい。
 回答選択基準：A そう思う(十分理解している) B だいたいそう思う(だいたい理解している)
 C あまりそうは思わない(あまり理解していない) D そう思わない(理解していない)

※ 判断できない項目は、○印をつけなくても結構です。

1. 学校での取り組みについて

(%)

項目	具体的事項	A	B	C	D
1 学校全般	① 生徒は学校生活を楽しんでいる	40	53	6	1
	② 教育活動において「文武両道」の成果が現れている	30	51	16	3
2 教科指導	① 授業では丁寧な指導を行っている	23	58	17	2
	② 進路面を考えた学習カリキュラムが行われている	18	56	24	3
3 進路指導	① 生徒一人ひとりの進路実現に向けた指導を行っている	15	48	34	3
	② 進路情報紙「ADELANTE」の発行など、情報提供に努めている	15	46	30	9
	③ 地域・大学・保護者等と連携した進路講話等を行っている	13	36	42	9
4 生徒指導	① 基本的な生活習慣の定着指導を行っている	20	60	19	2
	② 服装容儀の指導を行っている	27	57	14	3
	③ いじめや暴力行為の未然防止に努めている	16	57	21	6
	④ 命の尊重、安全等についての指導を行っている	20	57	20	4
5 特別活動	① 生徒は部活動や生徒会活動等を行い充実している	35	51	11	3
	② 生徒は部活動や生徒会活動等に自主的・主体的に参加している	31	54	15	1
6 環境保健	① 校内は綺麗に清掃され、学習や部活動を行う環境が整っている	32	55	8	5
	② 学校はゴミを分別して捨てるように指導している	34	50	12	4
	③ 生徒の健康管理・安全管理の指導に努めている	24	65	10	1
7 教育相談	① 教育相談係や保健室など悩みを相談できる場所がある	21	50	23	6
	② スクールカウンセラーとの面談ができる	14	40	36	10
	③ 三者面談、その他を通して、担任と情報交換を行っている	22	53	19	6
8 家庭との連携	① 保護者からの意見や要望の検討が行われている	15	39	37	8
	② 学校行事やPTA行事は活発に行われている	17	56	24	4
	③ 学校からの便り・連絡は家に届いている	26	49	20	6

2. 家庭での取り組みについて

(A そうである B だいたいそうである C あまりそうではない D そうではない)

具体的事項	A	B	C	D
① 子どもには朝食をとらせて登校させている	82	14	5	0
② 子どもに弁当を持たせている	85	12	1	2
③ 子どもの服装・身なりや問題行動の防止に気をつけている	77	22	1	0
④ 子どもの家庭学習に取り組んでいる	46	41	12	1
⑤ 子どもの希望進路について話をしている	67	27	6	1

令和7年度 生徒アンケート

【記入にあたって】

※ あてはまる欄(A B C D)に○印をつけて下さい。

回答選択基準 : A そう思う B だいたいそう思う C あまりそうは思わない D そう思わない

(%)

項目	具体的事項	A	B	C	D
1 学校全般	① 宮古高校へ入学して良かった	45	48	6	1
	② 学校生活は充実している	47	47	4	1
2 学習面	① 予習・復習をしている	11	35	39	15
	② 学習用具は持ち帰っている	59	29	12	3
	③ わからないことや疑問点は調べたり質問している	40	54	5	1
	④ 授業では分かりやすく、丁寧な指導が行なわれている	31	59	10	0
	⑤ 学習の評価は適正に行われている	37	51	9	3
3 進路指導	① 将来やりたい仕事が決まっている	40	28	21	11
	② 自分の進路目標に向かって努力している	40	36	21	3
	③ 進路相談などはしやすい	29	48	18	5
	④ 学校は進路情報を適切に提供している	42	47	9	1
4 生活面	① 友人、職員、訪問者等への挨拶をしている	59	38	3	0
	② 服装・身なりの決まりや校則を守っている	80	18	1	1
	③ 遅刻や欠課、欠席をしないようにしている	70	21	6	3
	④ 学校はいじめや暴力行為に対応している	48	45	4	2
	⑤ 学校は自他の生命など、安全についての指導を行っている	56	39	3	1
5 特別活動	① 自分の意見を発表する機会がある	61	36	2	1
	② 部活や行事など学校生活は楽しい	62	33	4	1
	③ 部活動や生徒会活動は活発である	57	37	4	1
6 環境保健	① 自ら進んで身のまわりを片付けている	44	43	11	2
	② ゴミを分別して捨てるようにしている	82	17	0	1
	③ 学校は清掃がきちんとされている	46	47	5	1
	④ 学習や部活動を行う環境は整っている	44	46	8	2
7 教育相談	① 悩みを相談できる友人や先生がいる	47	44	7	2
	② 今年度、いじめを受けたり、見たりしたことがない	79	17	2	2
	③ スクールカウンセラーとの面談ができることを知っている	60	23	8	9
	④ 今年度、体罰を受けたり、見たりしたことがない	85	12	1	2
8 家庭・地域との連携	① 宮古島や各地域での行事・活動に参加したい	33	40	19	7
	② 学校での出来事が家庭での話題になったりする	46	34	14	5
	③ 学校からの便り・連絡等は家に届けている	48	41	8	2